

釧路森林資源活用円卓会議（第1回全体会）について

1. 開催日時 平成28年6月1日（水）
13:30~15:00
2. 開催場所 釧路工業技術センター2階会議室
3. 参加人数 委員13名 オブザーバ9名 事務局9名
4. 会議の概要

- ・鈴木不二男座長（釧路地方林業会会長）による進行。
- ・事務局である釧路市より、平成27年度の取組内容と平成28年度に取組予定の事業について報告を行った。



【主な平成27年度の実績報告（事務局）】

- ・木造住宅講演会の開催
- ・公共施設等の木造・木質化推進
- ・各種木製品開発
- ・木育への取組（イベント開催・木育マイスター研修）
- ・小冊子「くしろの木製品」発行と展示資材「くしろ木づなショーケース（画像参照）」完成

【平成27年度の取組について質疑等】

- ・（阿寒湖畔の教職員住宅）木造2階建以上の集合住宅は道内でもあまり事例がない。現在ではRC建築物と断熱性や耐久性等比べても劣るものはない。今後も普及が進むよう努力したい。（川下部会長）

【平成28年度事業計画（事務局）】

- ・効率的かつ低コストな施業体系の確立に向けた課題抽出と各方面との情報交換
- ・民間建築物への活用促進
- ・林業・木材産業の担い手対策
- ・市民向け講演会の開催
- ・木製品の展示や木育等による普及活動



【平成28年度事業計画についての質疑等】

- ・（林業担い手対策）採用にあたりリスクのある職場ということと同時に思っているほど危険ではないという両面を伝えていく必要がある。機械化が進む現在、過去の林業のイメージを払しょくする必要がある。給与面でも十分な考慮が必要。また保育施設等の整備を進め女性の進出を促すべき。未来の担い手に対する現場での見学会については皆で協力したい。（川上部会長）
- ・伐採等造材では機械化が進んでいるが地拵えからの造林では人手が頼り。これまで漁業者が山の仕事も担っていたが漁業者も減少しつつある。また、待遇の向上や女性進出に向けた環境整備への負担は非常に大きい。先行きに不安を持っている。（川上部会委員）
- ・経営する製材工場のある地域は市街地から遠いため、採用したくても人そのものがない。解決には並大抵のことではないが大事な問題である。（座長）
- ・十勝での担い手対策について情報提供（十勝総合振興局森林室）